

福井工業大学
令和 5(2023)年度 卒業生満足度アンケート調査
結果報告



令和 6 年 5 月
福井工業大学
Fukui University of Technology
教学 IR 委員会

1. 調査概要

今回の卒業生満足度のアンケート調査の実施概要は以下の通りです。

調査対象:令和 6 年 3 月卒業生 学部 545 名
調査方法:LMS(Learning management system)の「manaba」を用いて調査。
調査期間:令和 6 年 2 月 10 日～3 月 15 日
回収数:表 1 の通り

表 1 :学科ごとのアンケート回収数および回収率

学科名		計		回収率
		卒業者数	回収数	
工学部	電気電子工学科	84	78	92.9%
	機械工学科	82	79	96.3%
	建築土木工学科	84	76	90.5%
	原子力技術応用工学科	32	32	100.0%
環境情報学部	環境食品応用化学科	48	47	97.9%
	経営情報学科	70	70	100.0%
	デザイン学科	65	61	93.8%
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	80	72	90.0%
計		545	515	94.5%

令和4年度	534	507	94.9%
令和3年度	515	509	98.8%
令和2年度	514	505	98.2%

[補足]・今回の卒業生は、コロナウイルス感染症の拡大によって入学式が実施されず、数ヶ月自宅待機を余儀なくされた学生である。
また、本学で初めて Microsoft Teams や manaba 等を利用して、オンラインあるいはオンデマンドで授業を受けることになった学年でもある。

2. 調査項目

- 1) 大学における学びの満足度
- 2) 大学生活における取り組み
- 3) 英語教育プログラム「SPEC」の評価
- 4) 卒業生として知人への本学進学への勧め
- 5) 卒業後の進路に対する満足度
- 6) 大学生活でのサポート体制の満足度

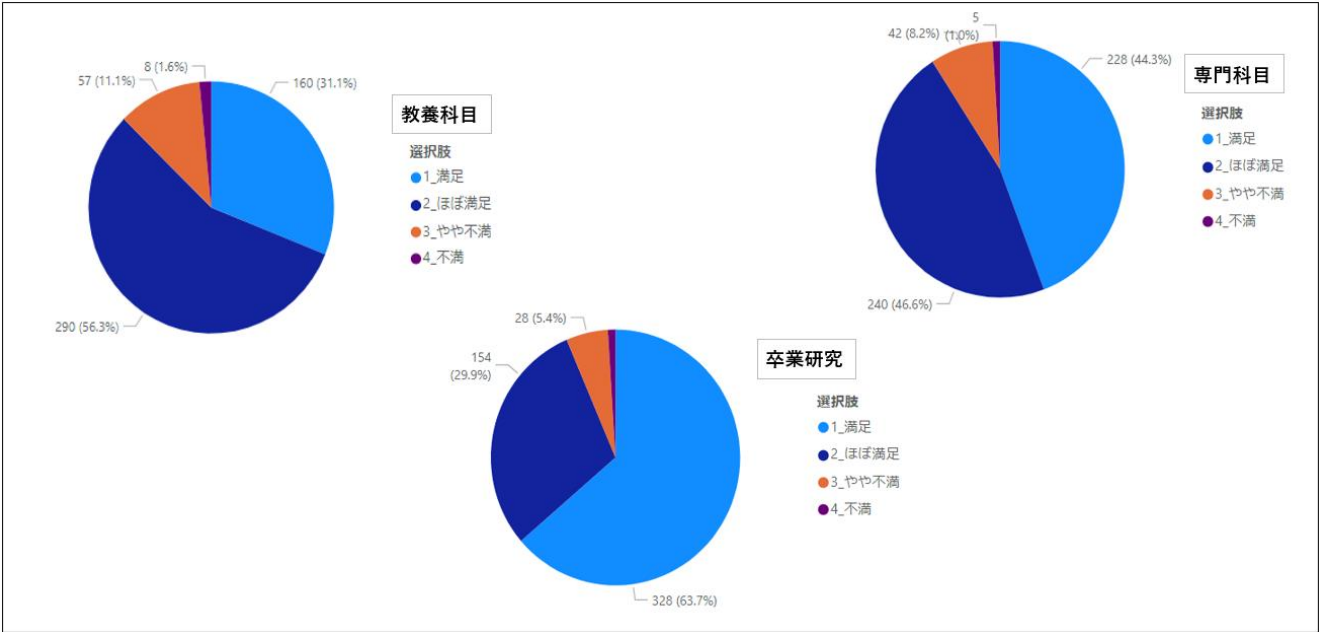
3. 調査の集計結果

1)-1 大学における分野ごとの「学び」についての満足度をお聞かせください。

教養科目:満足している 31.1%（令和4年度 27.0%）

専門科目:満足している 44.3%（令和4年度 35.5%）

卒業研究:満足している 63.7%（令和4年度 57.8%）



教養科目	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
満足	22	17	24	12	14	22	13	36	160	31.1%
ほぼ満足	48	45	44	16	28	46	33	30	290	56.3%
やや不満	7	14	8	4	5	2	13	4	57	11.1%
不満	1	3	0	0	0	0	2	2	8	1.6%

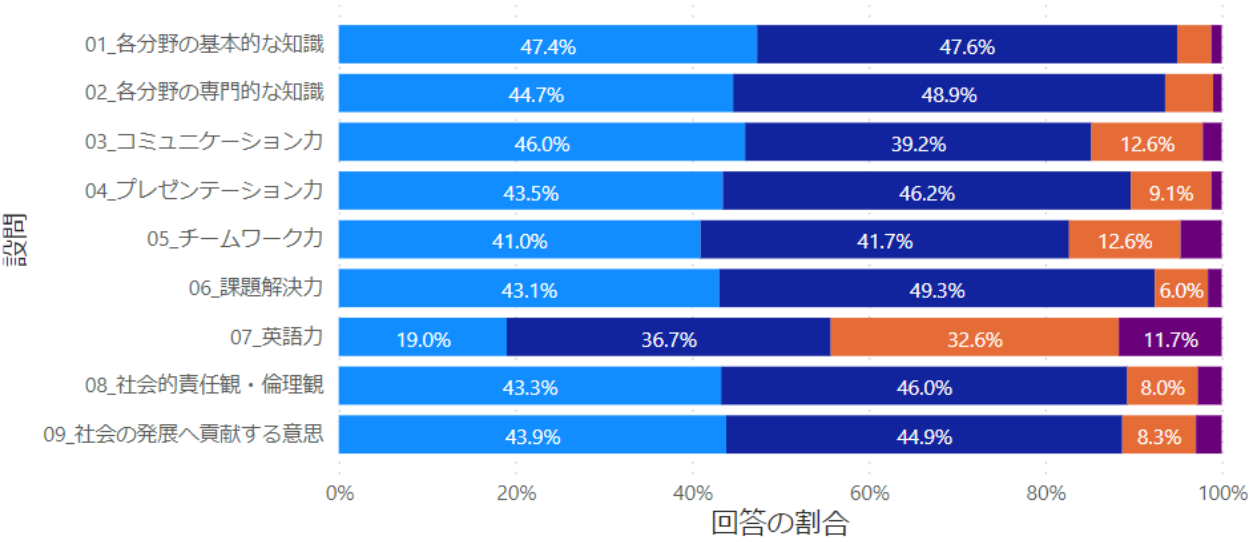
専門科目	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
満足	32	23	38	13	20	27	34	41	228	44.3%
ほぼ満足	40	37	34	15	23	38	24	29	240	46.6%
やや不満	4	17	4	4	4	5	3	1	42	8.2%
不満	2	2	0	0	0	0	0	1	5	1.0%

卒業研究	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
満足	52	41	51	15	29	44	47	49	328	63.7%
ほぼ満足	23	27	24	13	12	25	11	19	154	29.9%
やや不満	3	9	1	3	5	1	2	4	28	5.4%
不満	0	2	0	1	1	0	1	0	5	1.0%

昨年同様、分野ごとに「学び」の満足度(教養科目・専門科目・卒業研究)を問いました。
教養科目「満足」(31.1%)「ほぼ満足」(56.3%)を合わせ、87.4%（令和4年度 87.2%）
専門科目「満足」(44.3%)「ほぼ満足」(46.6%)を合わせ、90.9%（令和4年度 89.7%）
卒業研究「満足」(63.7%)「ほぼ満足」(29.9%)を合わせ、93.6%（令和4年度 93.3%）
教養科目・専門科目・卒業研究の「満足」は、昨年度と比べていずれも数ポイント以上高くなっています。一方、教養科目・専門科目の「やや不満」「不満」の合計はいずれも昨年度とあまり変わっておらず、引き続き改善を図っていく必要があると言えます。

1)-3 大学での「学び」を通じて、以下の知識や能力がどの程度身に付いたかお聞かせください。

選択肢 ● 1_身に付いた ● 2_少し身に付いた ● 3_あまり身に付かなかった ● 4_身に付かなかった

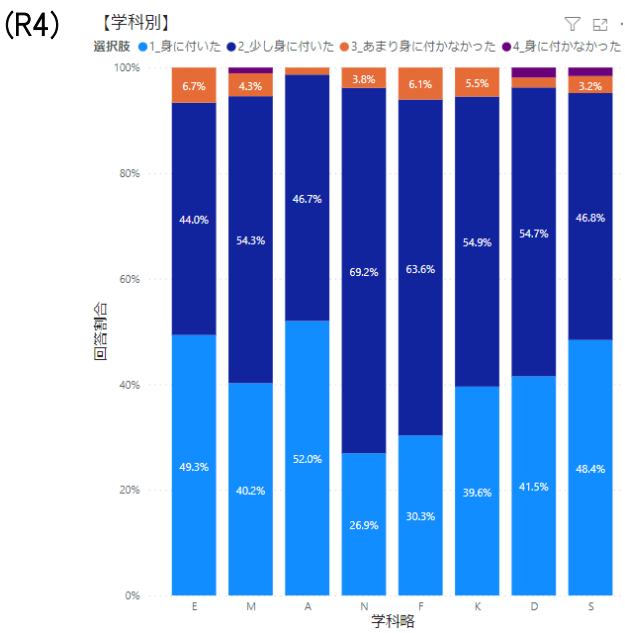
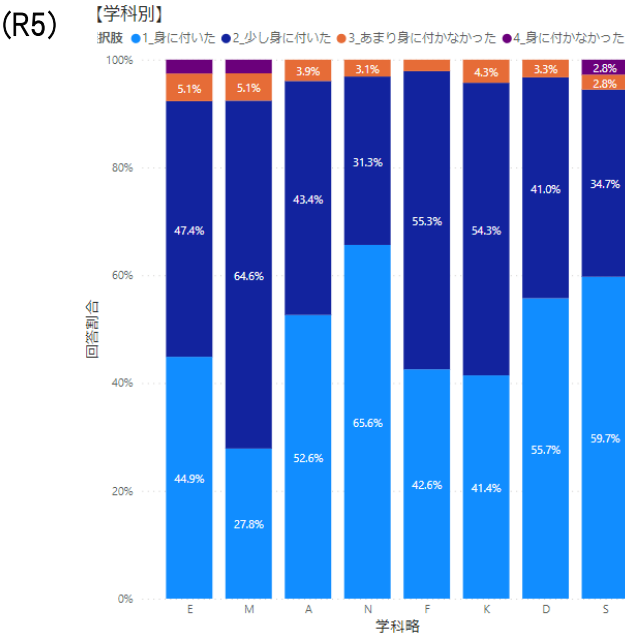


本学が定めるディプロマ・ポリシーで学生に求めている知識や能力の修得について、学生がどう感じているか調査しました。

「身に付いた」と「やや身に付いた」の合計が大きかったのは、「各分野の基本的な知識(95.0%)」と「各分野の専門的な知識(93.6%)」「課題解決力(92.4%)」でした。特に課題解決力については、「身に付いた」と回答している学生の割合が、昨年度より 3.8 ポイント増加しました。その他項目でも能力が身に付いたと感じている学生が多い中で、英語力については「あまり身に付かなかった」と「身に付かなかった」の合計が 44.3%であり、昨年度と変わりませんでした。後述のように、「SPEC」における外国人教員の授業に対する評価が高いことから、そのことを生かして、英語力を向上させる取組の検討が必要であると言えます。

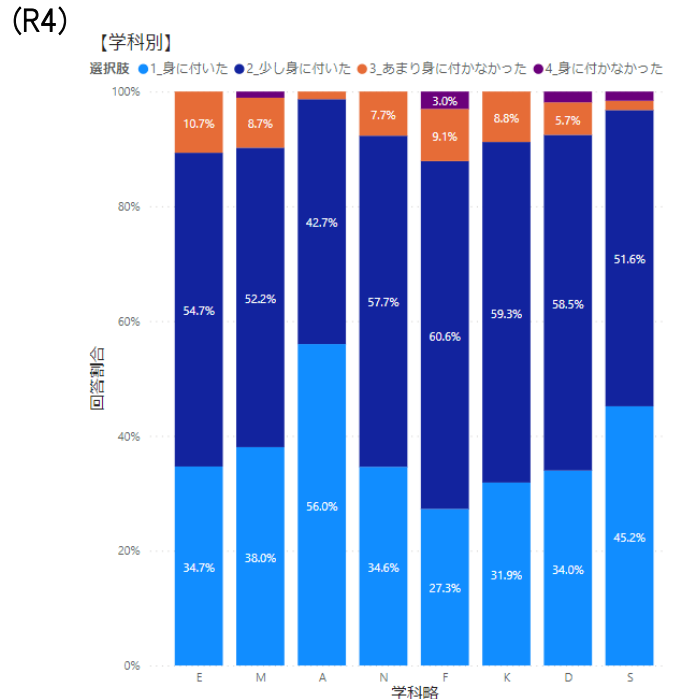
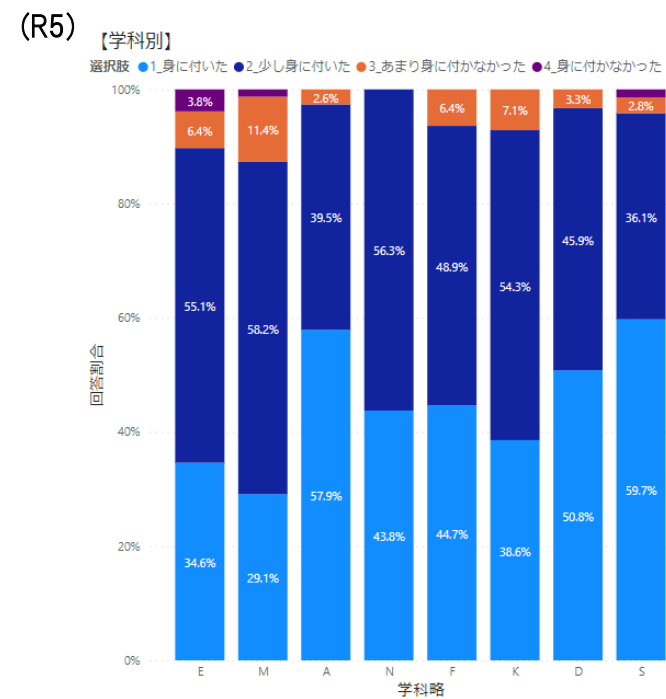
1)-3-1 各分野の基本的な知識

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	35	22	40	21	20	29	34	43	244	47.4%
少し身に付いた	37	51	33	10	26	38	25	25	245	47.6%
あまり身に付かなかった	4	4	3	1	1	3	2	2	20	3.9%
身に付かなかった	2	2	0	0	0	0	0	2	6	1.2%



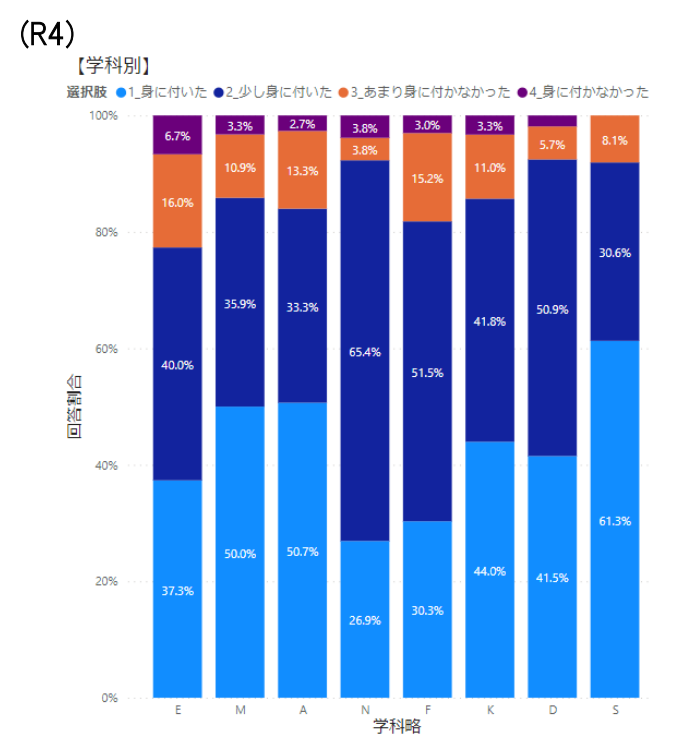
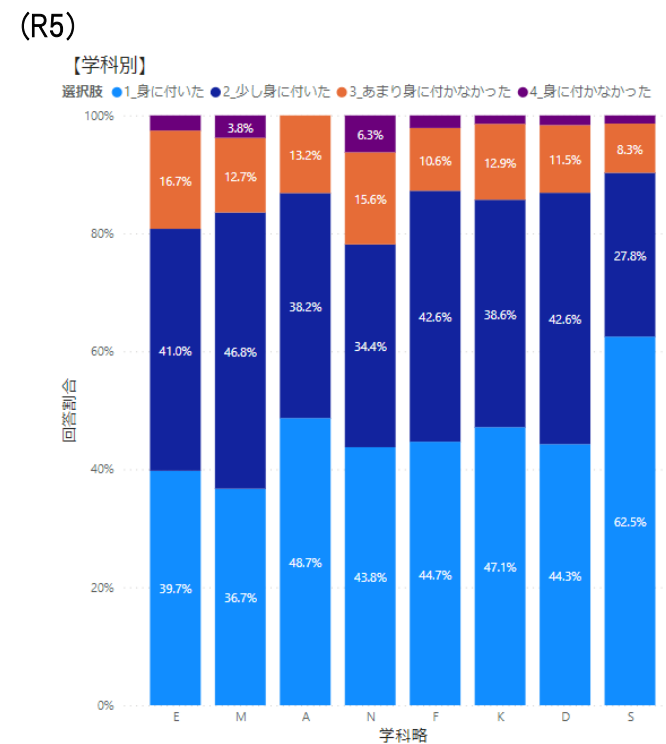
1)-3-2 各分野の専門的な知識

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	27	23	44	14	21	27	31	43	230	44.7%
少し身に付いた	43	46	30	18	23	38	28	26	252	48.9%
あまり身に付かなかった	5	9	2	0	3	5	2	2	28	5.4%
身に付かなかった	3	1	0	0	0	0	0	1	5	1.0%



1)-2-3 コミュニケーション力

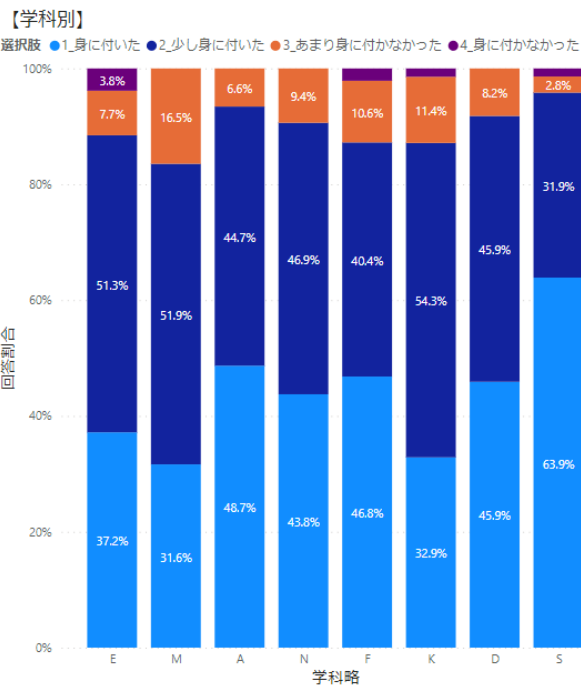
	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	31	29	37	14	21	33	27	45	237	46.0%
少し身に付いた	32	37	29	11	20	27	26	20	202	39.2%
あまり身に付かなかった	13	10	10	5	5	9	7	6	65	12.6%
身に付かなかった	2	3	0	2	1	1	1	1	11	2.1%



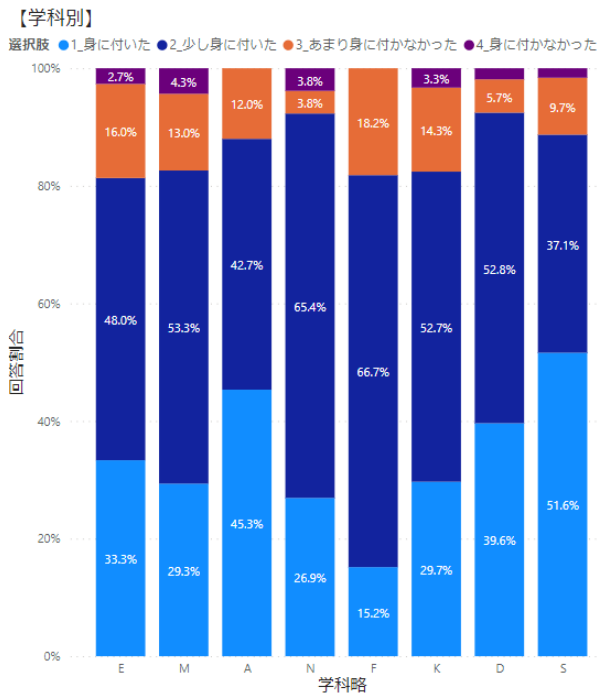
1)-3-4 プレゼンテーション力

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	29	25	37	14	22	23	28	46	224	43.5%
少し身に付いた	40	41	34	15	19	38	28	23	238	46.2%
あまり身に付かなかった	6	13	5	3	5	8	5	2	47	9.1%
身に付かなかった	3	0	0	0	1	1	0	1	6	1.2%

(R5)



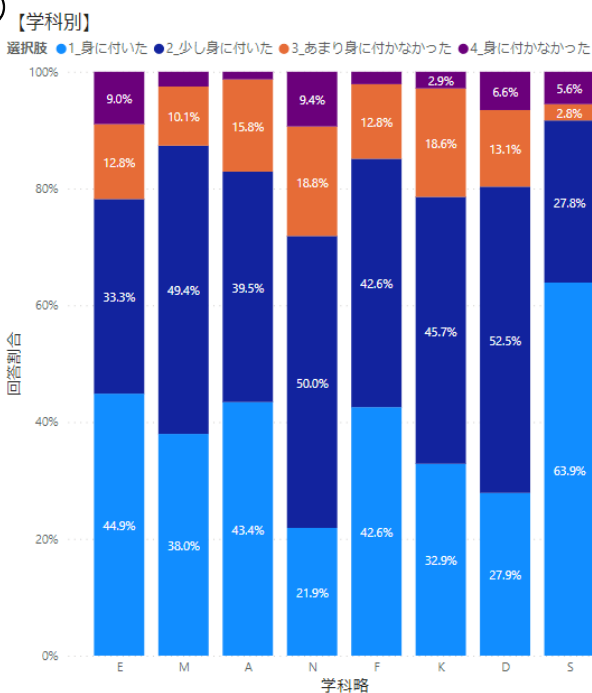
(R4)



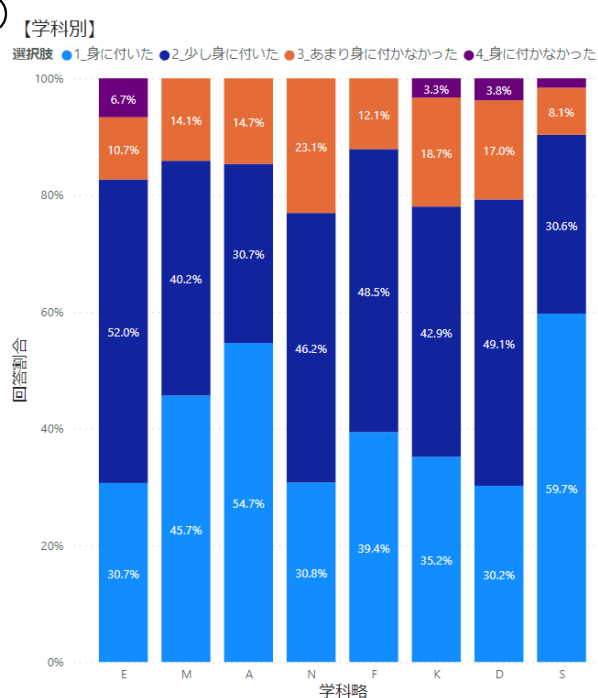
1)-3-5 チームワーク力

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	35	30	33	7	20	23	17	46	211	41.0%
少し身に付いた	26	39	30	16	20	32	32	20	215	41.7%
あまり身に付かなかった	10	8	12	6	6	13	8	2	65	12.6%
身に付かなかった	7	2	1	3	1	2	4	4	24	4.7%

(R5)



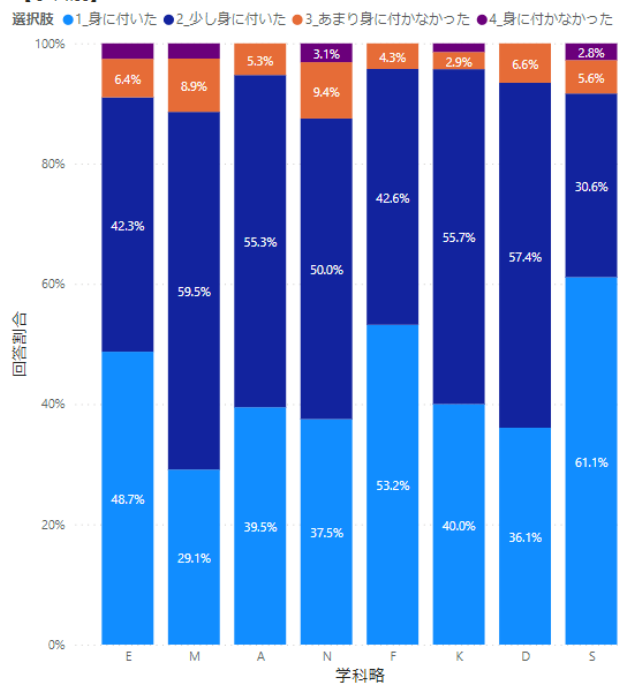
(R4)



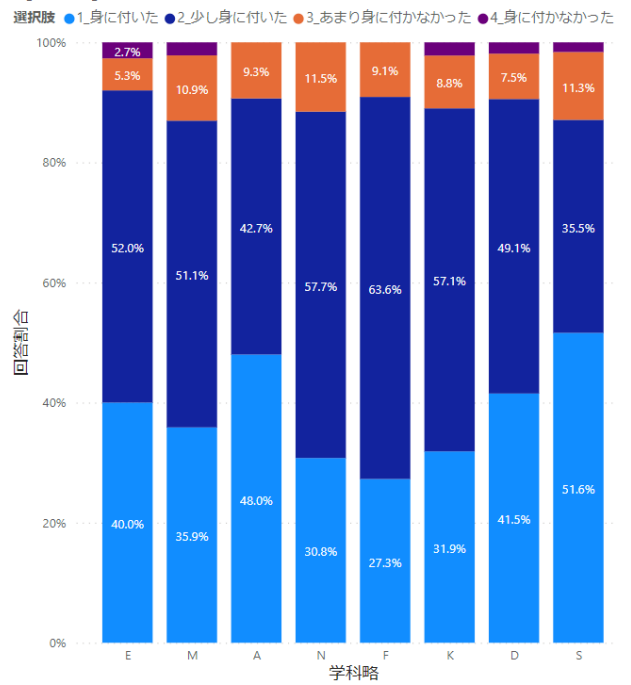
1)-3-6 課題解決力

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	38	23	30	12	25	28	22	44	222	43.1%
少し身に付いた	33	47	42	16	20	39	35	22	254	49.3%
あまり身に付かなかった	5	7	4	3	2	2	4	4	31	6.0%
身に付かなかった	2	2	0	1	0	1	0	2	8	1.6%

(R5) 【学科別】



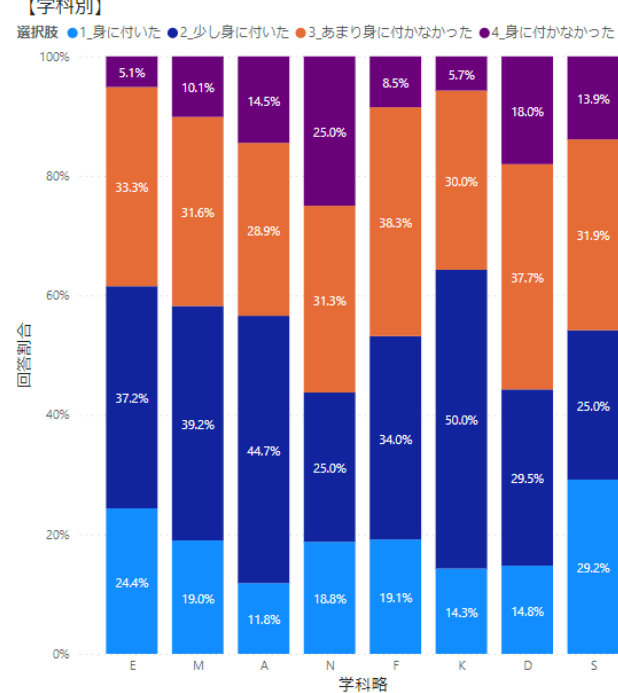
(R4) 【学科別】



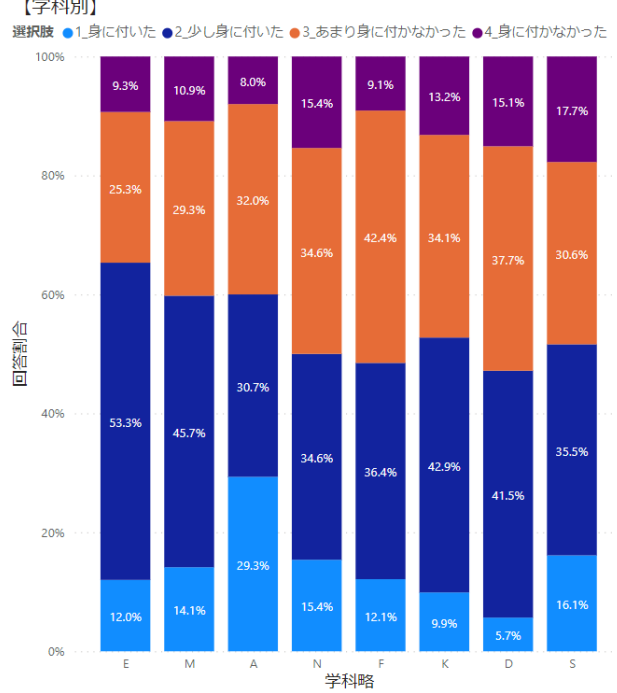
1)-3-7 英語力

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	19	15	9	6	9	10	9	21	98	19.0%
少し身に付いた	29	31	34	8	16	35	18	18	189	36.7%
あまり身に付かなかった	26	25	22	10	18	21	23	23	168	32.6%
身に付かなかった	4	8	11	8	4	4	11	10	60	11.7%

(R5) 【学科別】



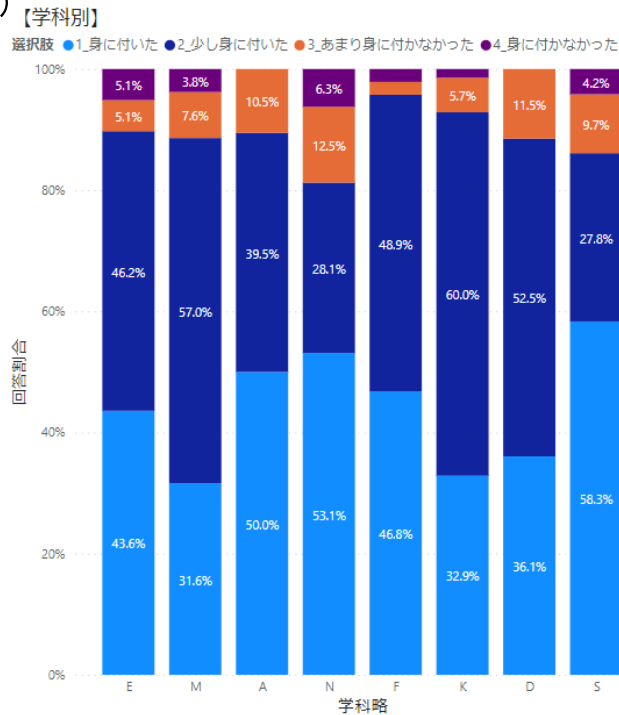
(R4) 【学科別】



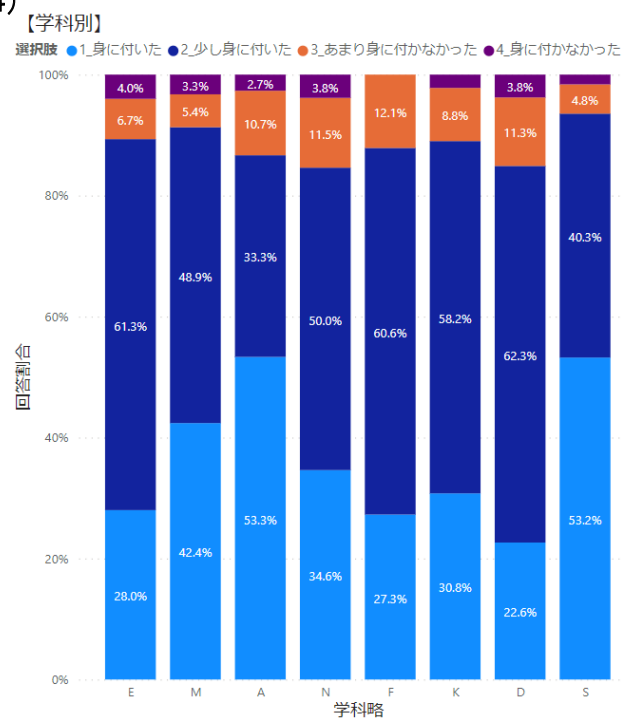
1)-3-8 社会的責任感・倫理観

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	34	25	38	17	22	23	22	42	223	43.3%
少し身に付いた	36	45	30	9	23	42	32	20	237	46.0%
あまり身に付かなかった	4	6	8	4	1	4	7	7	41	8.0%
身に付かなかった	4	3	0	2	1	1	0	3	14	2.7%

(R5)



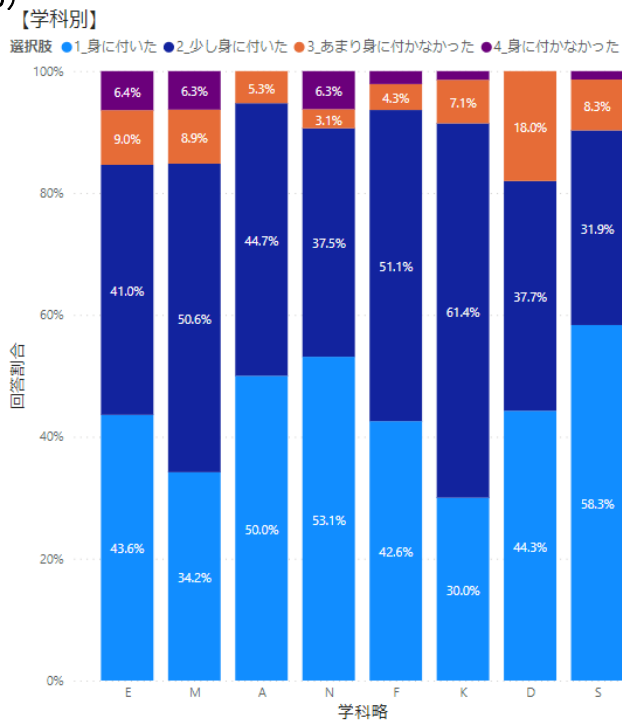
(R4)



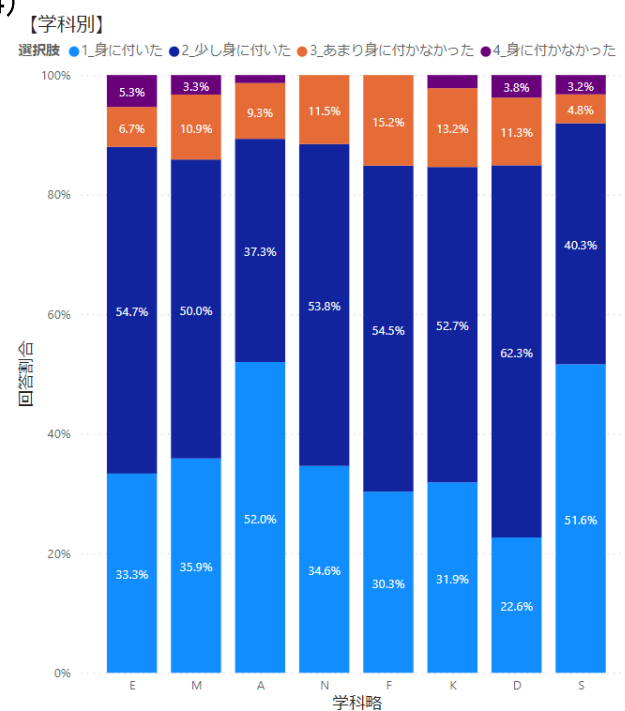
1)-3-9 社会の発展へ貢献する意思

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
身に付いた	34	27	38	17	20	21	27	42	226	43.9%
少し身に付いた	32	40	34	12	24	43	23	23	231	44.9%
あまり身に付かなかった	7	7	4	1	2	5	11	6	43	8.3%
身に付かなかった	5	5	0	2	1	1	0	1	15	2.9%

(R5)

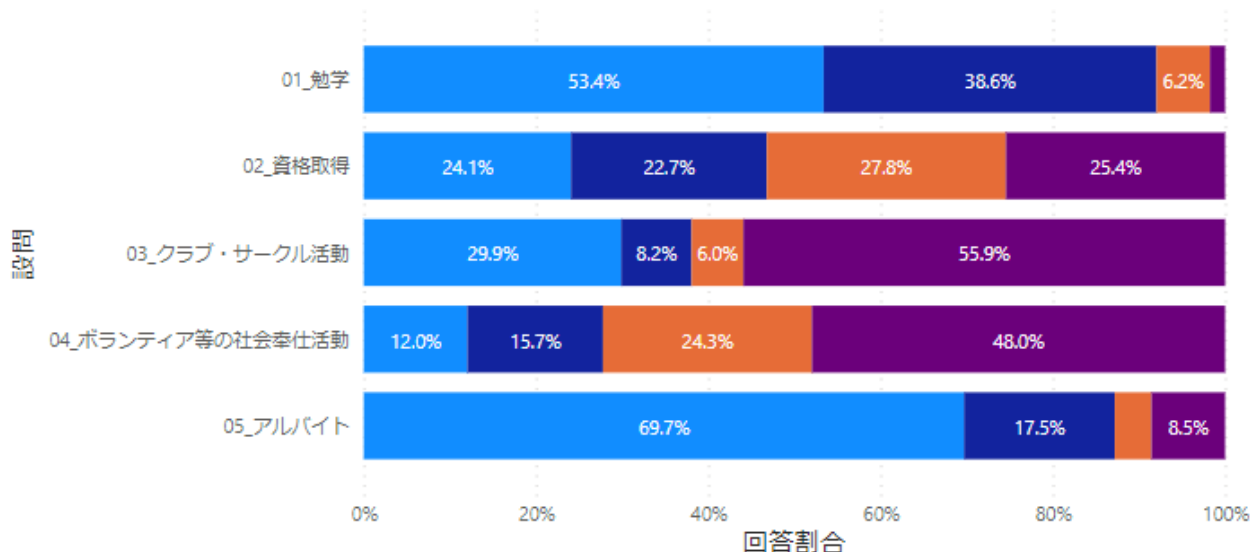


(R4)



2) 大学生活において、次のことに取り組みましたか。

選択肢 ●1_取り組んだ ●2_少し取り組んだ ●3_あまり取り組まなかった ●4_全く取り組まなかった



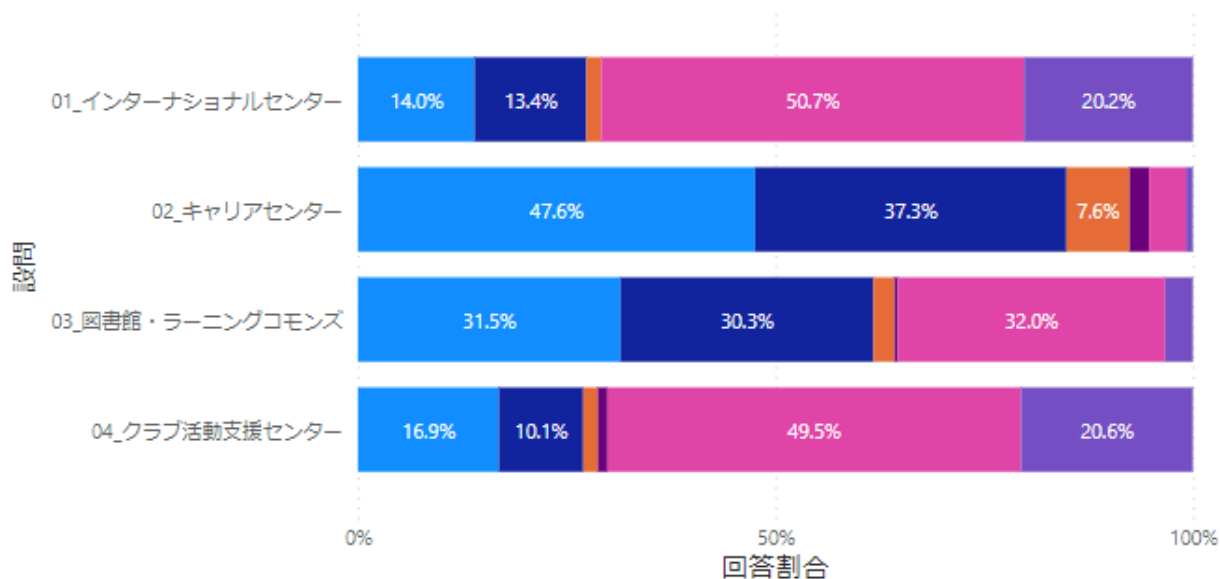
「取り組んだ」と「少し取り組んだ」の合計は、「勉強(92.0%)」と「アルバイト(87.2%)」が上位を占め、昨年度と同様の結果となりました。

ボランティア等の社会奉仕活動は、29.5%(R4)→27.7%(R5)とほぼ横ばいとなりました。

「全く取り組まなかった」項目の中で目を引くのはクラブ・サークル活動で、43.6%(R4)→55.9%(R5)と 12.3 ポイントも増加しています。コロナウイルス感染症拡大に伴って、入学後のオリエンテーションにおけるクラブ紹介等が実施されなかったために、クラブ・サークル活動に取り組む学生が減少したのではないかと考えられます。また、資格取得についても、オンライン授業が多かったこともあり、学生に周知が十分に行き渡っていなかった可能性が少なからずあると言えます。

3) 以下の施設の支援・サービスの満足度をお聞かせください。

選択肢 ●1_満足 ●2_ほぼ満足 ●3_やや不満 ●4_不満 ●5_利用していない ●6_知らなかった

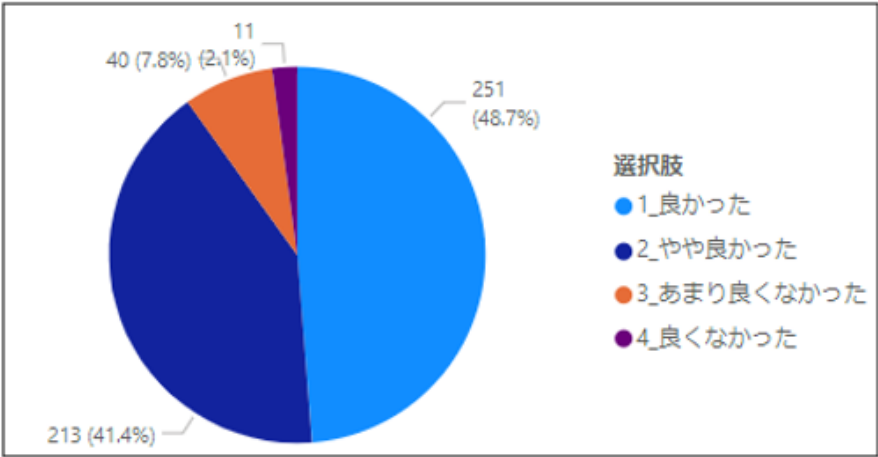


「満足」と「ほぼ満足」の合計は、「キャリアセンター(84.9%)」と「図書館・ラーニングcommons(61.8%)」が上位を占め、昨年度と同様の結果となりました。

4) 英語教育プログラム(SPEC)における外国人教員の授業について感想をお聞かせください。

良かった 48.7%

(R4実施アンケート 良かった 45.6%)



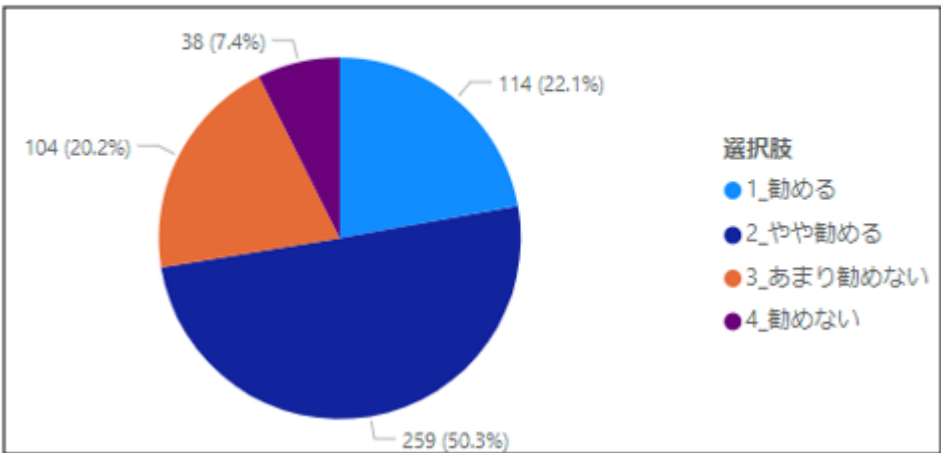
(※)英語プログラム(Special Program for English Communication)。
「使える」「伝わる」英語を身に付ける本学独自のプログラム。

昨年度と同様に「SPEC」における外国人教員の授業について問いました。
「良かった(48.7%)」と「やや良かった(41.4%)」とを合わせて 90.1%となり、大変高い評価が得られています。
外国人教員による熱心な英語教育が、この結果に繋がっているものと考えます。

5)知人に福井工業大学への進学を勧めたいと思いますか。

勧めたい 22.1%

(R4実施アンケート 良かった 16.4%)



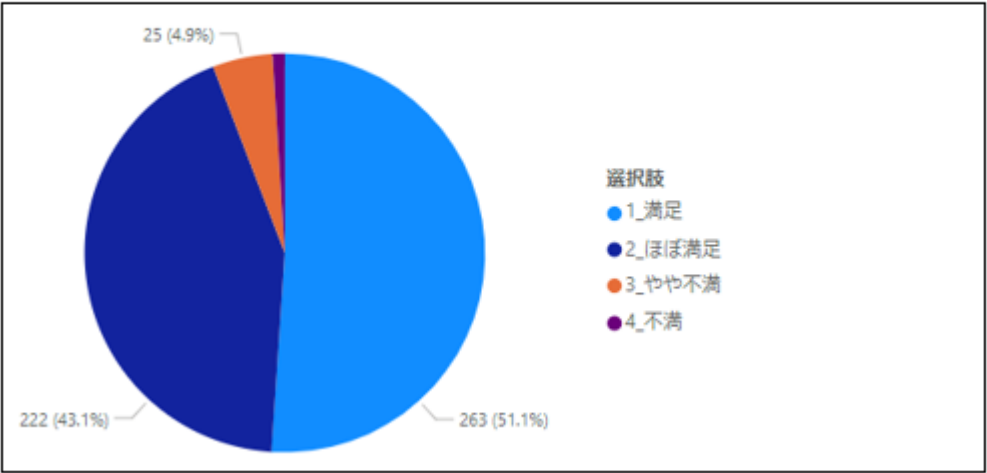
「勧める」と回答した学生は、16.4%(R4)→22.1(R5)と昨年度より高いことが分かりました。

	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
勧める	20	10	17	9	7	17	10	24	114	22.1%
やや勧める	35	33	42	16	32	39	35	27	259	50.3%
あまり勧めない	17	25	14	6	7	9	10	16	104	20.2%
勧めない	6	11	3	1	1	5	6	5	38	7.4%

6) 卒業後の進路に対する満足度

満足 51.1%

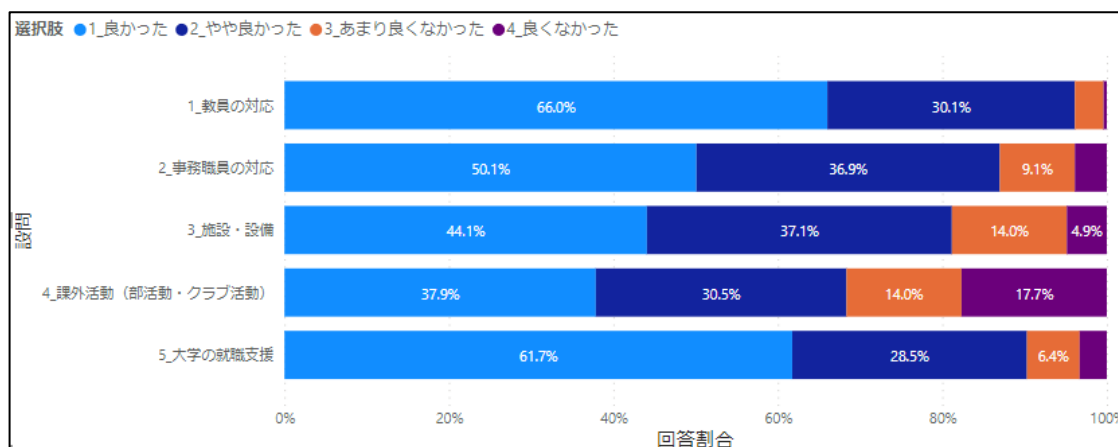
(R4実施アンケート 満足 46.0%)



	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
満足	44	36	48	16	28	32	23	36	263	51.1%
ほぼ満足	32	37	26	13	18	35	29	32	222	43.1%
やや不満	2	5	2	3	1	2	7	3	25	4.9%
不満	0	1	0	0	0	1	2	1	5	1.0%

「満足」「ほぼ満足」の合計が94.2%となりました。キャリアセンターを中心とする丁寧な支援が、この高い満足度に繋がっていると考えられます。

7) 学生の皆さんへサポート体制について、以下の区分ごとに感想をお聞かせください。



「良かった」と「やや良かった」の合計は、「教員の対応(96.1%)」と「大学の就職支援(90.3%)」が上位を占め、満足度が非常に高い結果となりました。総合的にみても大学のサポート体制は、満足度が高かったと言えます。

教員の対応	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
良かった	57	40	47	24	32	49	36	55	340	66.0%
やや良かった	19	36	26	5	14	21	19	15	155	30.1%
あまり良くなかった	2	2	3	2	1	0	6	2	18	3.5%
良くなかった	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0.4%

事務職員の対応	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
良かった	49	30	39	19	20	34	23	44	258	50.1%
やや良かった	21	26	30	11	22	31	28	21	190	36.9%
あまり良くなかった	6	17	7	2	3	2	5	5	47	9.1%
良くなかった	2	6	0	0	2	3	5	2	20	3.9%

施設・設備	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
良かった	32	19	38	16	24	34	22	42	227	44.1%
やや良かった	28	34	32	10	19	25	25	18	191	37.1%
あまり良くなかった	12	19	5	6	3	8	7	12	72	14.0%
良くなかった	6	7	1	0	1	3	7	0	25	4.9%

課外活動（部活動・クラブ活動）	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
良かった	27	23	27	6	17	33	12	50	195	37.9%
やや良かった	28	26	25	12	15	18	22	11	157	30.5%
あまり良くなかった	8	15	8	6	6	12	12	5	72	14.0%
良くなかった	15	15	16	8	9	7	15	6	91	17.7%

大学の就職支援	E	M	A	N	F	K	D	S	合計	割合
良かった	53	40	46	24	29	48	27	51	318	61.7%
やや良かった	19	29	21	6	14	19	26	13	147	28.5%
あまり良くなかった	3	6	8	2	3	0	6	5	33	6.4%
良くなかった	3	4	1	0	1	3	2	3	17	3.3%

4. 最後に ～ まとめ

manaba を利用した WEB 調査により、卒業生満足度アンケートを実施しました。

ディプロマ・ポリシーで掲げている本学での学びについて、今年度も高い満足度が得られました。

また、高い就職率に象徴されるように、就職に対する満足度の高さは、キャリアセンターによる支援だけでなく、学生自身の頑張りと成果を反映した証でもあります。本学独自の英語教育プログラム「SPEC」に関して、外国人講師の授業が高い評価を得ているにも関わらず、英語力があまり身に付いていません。地域と世界で活躍できる人材として羽ばたくために、英語によるコミュニケーションは必須であり、そのことを意識して主体的に学ぶプログラムが必要であると言えます。今年度の卒業生は、コロナ禍によって入学時から自宅待機やオンライン授業を余儀なくされ、クラブ・サークル活動ができなかった学生が多かったことがわかりました。

今回得られた卒業生の貴重な声を大学・学園全体で真摯に受け止め、これからの改善と発展のために生かしていく必要があります。